

(第3種郵便物認可)

管内で修学旅行や宿泊研修

中高生の農業体験倍増

本年度 受け入れ態勢整備
2千人余

修学旅行や宿泊研修として、上川管内の農家で農業を体験する中高生が増えている。上川支庁や市町村と協力し学校と農家の橋渡しをしているグリーンツーリズム企画会社のアグリテック（東川）によると、本年度管内で農業体験をする中高生は前年度の二・六倍の二千人余り。食育への関心の高まりとともに、協力農家が増え、大規模校や修学旅行シーズンにも対応できる態勢ができたことも奏功している。

（小川郁子）

これまで管内では、一人の農家では受け入れ数部の農家が修学旅行生らや体験メニュー、期間を受け入れていたが、「個

人」の農家では受け入れ数（一）年度から農家のネットワークづくりや農家と学校の橋渡し組織の育成などに着手。現在、主に上川中部で市町村、農家、アグリテックと協力し、受け入れ態勢の整備を進めている。

がっている。

アグリテックは〇五年度から、修学旅行生らの農業体験のコーディネートを開始。〇六年度には中高八校、合計八百四人が延べ百五十五戸の農家で体験した。本年度は道外を中心に十校、二千八

みが広がっている。

修学旅行や宿泊研修は五、六月、十月ごろに集中。受け入れ農家や地域が広がることで、体験を希望する学校の需要に応えやすくなっている。五



月に中学生五人を受け入れた旭川市東鷹栖の高見一典さんは「田んぼを間近で見たことのない子供も土に触れ、笑顔を見せる。これをきっかけに農業に関心を持ってもらえたら」と話している。